

みやまの風



令和6年2月1日(木)発行

園長 津田 将美

幼稚園HPのQRコードです！

発表会にむけて

「みんな今日は、どうしてそんなに上手にできたの??」
発表会に向けての練習が終わった後、感動した担任が子どもたちに問いかけました。すると子どもたちから、うれしい答えが返ってきました。

「今日は園長先生がお客さんでいたから、がんばれたよ！」
「じゃあ本番は、もっとたくさんお客さんいるから、もっとがんばれるね。」
「うん！」

最後に感想を求められたので、素直な気持ちを伝えました。

「園長先生は、この劇が**だいすき**です！」



一人ひとりが生き生きと自分を表現し、仲間のがんばりに声をかける…。

園生活での個や集団の良さが、そのまま表現された素敵な劇でした。少人数の異学年交流が持つ家庭的な雰囲気や、自分たちががんばってきたこと、友だちと協力して創り上げてきたこと等がほのぼのと表現されていて、本当に楽しく観させてもらいました。

得意なものの発表では、一人ひとりの演技をみんなで一生懸命応援して、その姿は普段の園生活のままでした。衣装や大道具、小道具の中には、日々の保育の中で培った子どもたちの工夫や熱意が込められています。台詞の中には、やる気や前向きさ、やさしさがこもっていて、聞いているだけで心があたたかくなります。そして何よりも、6人が醸し出す雰囲気が何とも言えないほのぼのとした空気を運んで来て、幸せな気分になりました。

数日後、リハーサルを観た時には更にレベルアップしていました。また感想を求められたので、前回の「大好き」にいくつか付け足しました。

「感動」「うれしさ」「協力」「笑顔」…。いくつもの素敵な言葉が、心の中に浮かんできたので、それを子どもたちに伝えました。

みんな、笑顔でしっかりと聞いてくれました。

「じゃ、園長先生の後には、神谷さんね。その後は美和子先生。」

結局、子どもたちのリクエストで運転手さんをはじめすべての先生が感想を言うことになりました。

子どもたちはにっこにこ。先生たちもにっこにこ。

リハーサルは大成功で、あとは本番を待つのみです。

このように、今まで一生懸命、心を込めて練習してきた保育参観発表会が、いよいよ本番を迎えます。多くの方に、子どもたちの良さを観に来ていただければと思います。

そして、本番を通してこの劇を大好きになってくださった方は、どうかその気持ちをそのまま子どもたちに伝えてください。

よろしく願いいたします。

